大阪科学技術センター産業界におけるカーボンニュートラル研究会主催

公開研究会

『こうなる！？エネルギー分野のトランジション』

一般財団法人大阪科学技術センターでは、2020年10月の首相宣言以降、その重要性が急速に増してきたカーボンニュートラルに正しく向き合っていくために、業界横断で課題を共有、対策を議論する研究会を2022年2月に「産業界におけるカーボンニュートラル研究会」を設立し、すでに3年半の活動を行ってきております。

カーボンニュートラルをどう捉えればよいのか、日本としてどういう方向性に向かうのかエネルギー分野の産学官のリーダーたちが一堂に会し、活発な議論を行っています。

従来は会員企業のみの参加で開催しておりましたが今回はより多くの皆様に本研究会を認知いただくために、公開し開催いたします。ご参加をお待ちしております。

小林　英樹　氏

秋元　圭吾　氏

野田　太一　氏

関根　泰　氏

1．日時　2025年 **9月 16日(火)** 14:00～17:30、17:40～交流会(立食形式)

2．場所　大阪科学技術センタービル8階　大ホールおよびオンライン（Zoom）

3．主催　(一財)大阪科学技術センター

4．参加費　10,000円(消費税込み)　※交流会無料

5．プログラム

テーマ『こうなる！？エネルギー分野のトランジションを深堀』

開会挨拶　産業界におけるカーボンニュートラル研究会 会長／大阪大学大学院 工学研究科 教授　**小林 英樹 氏**

講演①「第７次エネルギー基本計画の概要と需給シナリオ分析の解説」

(公財)地球環境産業技術研究機構　システム研究グループ グループリーダー・主席研究員　**秋元 圭吾 氏**

講演②　「トランジション期の資源調達」

(独)エネルギー・金属鉱物資源機構　企画調整部長　**野田 太一 氏**

講演③　「グリーンイノベーションとトランジションのための技術の現状と今後」

産業界におけるカーボンニュートラル研究会 副会長／早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 教授　**関根 泰 氏**

総合討議　司会：関根 泰氏

お申込みは研究会ホームページまで

URL：　https://carbon-neutral.ostec.or.jp/

登壇者紹介

公益財団法人　地球環境産業技術研究機構　秋元　圭吾　氏

平成11年 横浜国立大学大学院工学研究科博士課程修了。博士（工学）。同年 財団法人 地球環境産業技術研究機構 入所、研究員。主任研究員を経て、平成19年、同　システム研究グループリーダー・副主席研究員、平成24年11月より現職。平成18年 国際応用システム分析研究所（IIASA）客員研究員。平成22～26年度 東京大学大学院総合文化研究科客員教授（兼務）。平成24～令和2年 日本学術会議連携会員。令和4年11月～　東京科学大学（前東京工業大学）特任教授（兼務、現職）。
　IPCC第5次、第6次、第7次評価報告書代表執筆者。総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会　発電コスト検証WG委員（座長）、同 電力・ガス事業分科会 次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会委員、同 省エネルギー・新エネルギー分科会 水素・アンモニア政策小委員会委員、同 電力・ガス事業分科会・省エネルギー・新エネルギー分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会、同 資源・燃料分科会 脱炭素燃料政策小委員会委員、産業構造審議会 イノベーション・環境分科会　中長期地球温暖化対策検討WG委員、排出量取引制度小委員会委員、調達価格等算定委員会委員（委員長）、内閣官房 GX実行会議 GX実現に向けた専門家ワーキンググループ委員など、政府の各種委員会委員も務めている。
エネルギー・環境を対象とするシステム工学が専門

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構　野田　太一　氏

2000年　通産省入省
　・経産省貿易経済協力局、製造産業局で勤務
　・在マレーシア日本大使館、在トルコ日本大使館、文化庁、内閣官房、原子力規制庁
2019年　富山県警察本部警務部長
2021年　資源エネルギー庁、ガス市場整備室長
2023年より現職

早稲田大学　理工学術院　先進理工学研究科　教授　関根　泰　氏

1993年　東京大学工学部応用化学科卒業、1998年　同　博士修了
1998-2001　同　助手　2001より　　早大助手・講師・准教授を経て2012年より教授　現在にいたる。
2022より　早稲田大学研究戦略センター　センター長、2011年より現在までJSTフェロー
2020年よりイギリス王立化学会フェロー（FRSC）
受賞歴：2019年日本化学会学術賞、2020年文部科学大臣表彰科学技術賞、他多数
　経済産業省 産業構造審議会グリーンイノベPJ部会　全委員、　政府グリーンイノベ戦略会議議員・WG座長、政府クリーンエネルギー戦略委員、経産省GX委員・トランジションファイナンス委員、文科省環境エネルギー委員会委員・副代表、ドイツ政府e-fuelアライアンス ボードメンバー、Elsevier “Fuel”誌　編集責任者、NEDO未踏チャレンジ2050　領域総括、国際天然ガス転換会議　日本代表、水素エネルギー協会副会長

産業界におけるカーボンニュートラル研究会とは

<目的>

- ◆ 最終的なカーボンニュートラル社会を実現できるカーボンニュートラルシステムとはどういうものか、それを成立させるための技術オプションは何かを業界を越えた知見の集約と率直な議論により明確化・共有することで、一社では対応できない対策立案に資する。
- ◆ 課題解決に向けた長期的な技術開発促進のため、業界を超えた技術者人脈を形成する。
- ◆ 製造業を中心とした産業セクターにおいて、製品ライフサイクルでのカーボンニュートラルの成立を総合的にとらえ、業界横断でその課題解決を加速することにより、日本の産業の競争力を高め、持続可能な産業の発展につなげていくことを最終目的とする。

<会員企業>

旭化成(株)、NTN(株)、ENEOS(株)、大阪ガス(株)、大阪ガスケミカル(株)
(株)大林組、カナデビア(株)、川崎重工業(株)、関西電力(株)、(株)クボタ
(株)栗本鐵工所、(株)KRI、(株)神戸製鋼所、 堺化学工業(株)、
(株)島津製作所、住友精化(株)、住友電気工業(株)、積水化学工業(株)、
ダイキン工業(株)、大和ハウス工業(株)、(株)竹中工務店、TOYO TIRE(株)
東洋紡(株)、(株)日本触媒、　パナソニック ホールディングス(株)
(株)堀場製作所、三菱電機(株)、村田機械(株)

<新規会員募集中>（入会資格は法人のみとなります）

年会費(大企業)　　：275,000円、(中小企業*)：137,500円

*中小企業の定義は中小企業庁の定義、金額は税込

*OSTEC賛助会員には割引があります

人数制限のあるイベント以外は何人でも参加可、飲食費・旅費等は別途徴収

<お問い合わせ先>

(一財)大阪科学技術センター技術振興部

Eメール　c-neutral@ostec.or.jp　　TEL 06-6443-5320